

活動内容報告書

団体名		沖縄の子どもと家族・支援者の未来を明るくする会 (OCFS勉強会)	
直近3か月活動報告	R1年 11月 1日	勉強会: OCFS円卓会議「児童虐待をなくすために地域ができることを考える」 In浦添市役所9階講堂	
	R1年 11月 30日	イベント: 『OCFS子どもフェスタ』 in 森の子児童センター・神森小学校体育館	
	R2年 1月 17日	勉強会: 「国立児童自立支援施設で子ども達と生きる」 in 浦添市ハーモニーセンター	



OCFS円卓会議
～児童虐待防止推進月間啓発イベント～
令和元年11月1日(金) 18:45～20:45
会場: 浦添市役所 9階 講堂

テーマ
児童虐待をなくすために地域ができることを考える
～セルフアセスメント～

プログラム
①挨拶・開会
②門外漢の経験
③ディスカッション
④閉会挨拶

沖縄の子どもと家族・支援者の未来を明るくする会
申し込み・お問い合わせ: ocfs.happy@gmail.com



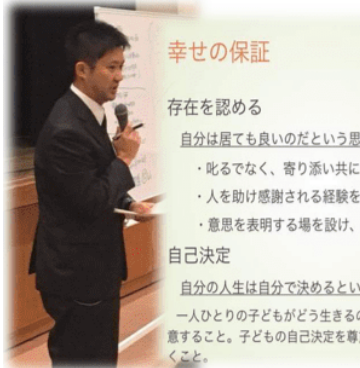

OCFS 子どものフェスタ
～シブネットワーク・大成ホーム協力事業～
2019年11月30日(土) 10時～17時
会場: 神森小学校体育館 & 森の子児童センター
♡参加無料♡みんな遊びに来てね♡

★講演会とグループワーク★
※井原より挨拶! 児童養護施設・児童家庭センター「一織」
統括所長 橋本 達郎 氏
「地域で育える子育てとは」
第一部 講演会: 13時～14時
第二部 ワーク: 14時～15時
※事前申し込み※

トト子ども向けイベント♪
・スライム作り体験教室
・SSSストレッチ・ストラックアウト・雑談ゲームなど
第一部: 10時～12時
第二部: 13時～15時
子ども大人も一緒に楽しめるイベントです!

★映画無料上映★
ドキュメンタリー映画「記憶」
女子少子期の少女たちを主人公とした映画。沖縄初上映です!
事前申し込み不要
(1回目): 10時30分～
(2回目): 15時30分～

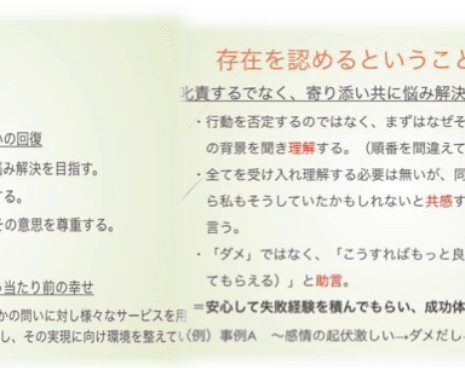
沖縄の子どもと家族・支援者の未来を明るくする会
申し込み・お問い合わせ先: ocfs.happy@gmail.com (代表アリス)
Facebook: 沖縄の子どもと家族・支援者の未来を明るくする会



幸せの保証

存在を認める
自分は居ても良いのだという思いの回復
・叱るでなく、寄り添い共に悩み解決を目指す。
・人を助け感謝される経験をする。
・意思を表明する場を設け、その意思を尊重する。

自己決定
自分の人生は自分で決めるという当たり前
一人ひとりの子どもがどう生きるのかの問いに対し様々なサービスを用意すること。子どもの自己決定を尊重し、その実現に向け環境を整えて。(例) 事例A ～感情の起伏激しい→ダメだし→自己肯定感の低下～



存在を認めるということ
叱責するでなく、寄り添い共に悩み解決を目指す

- 行動を否定するのではなく、まずはなぜそこに至ったのかの背景を聞き理解する。(順番を間違えてはいけない)
- 全てを受け入れ理解する必要は無いが、同じ立場であったら私もそうしていたかもしれないと共感する姿勢を持つ、言う。
- 「ダメ」ではなく、「こうすればもっと良くなる(理解してもらえる)」と助言。
- 安心して失敗経験を積んでもらい、成功体験につなげる



存在を認めるということ
叱責するでなく、寄り添い共に悩み解決を目指す

- 行動を否定するのではなく、まずはなぜそこに至ったのかの背景を聞き理解する。(順番を間違えてはいけない)
- 全てを受け入れ理解する必要は無いが、同じ立場であったら私もそうしていたかもしれないと共感する姿勢を持つ、言う。
- 「ダメ」ではなく、「こうすればもっと良くなる(理解してもらえる)」と助言。
- 安心して失敗経験を積んでもらい、成功体験につなげる

コメント

皆さまから頂いた寄付で当団体の活動は実りのある活動になりました。2ヶ月に1度実施している勉強会では、大学教授や弁護士、県外講師をお呼びする事ができ、福祉、教育、医療、民間、学生、当事者といった様々なメンバーが参加し、知識の獲得をはじめ、横の繋がりもとても多く広がりました。多くのメンバーに参加してもらえるように、地域社会にある身近な問題課題をテーマにとりあげ、様々な視点で「皆が笑顔になれるために」ということを考えるきっかけができたと思います。また勉強会のみでなく「物の繋がりから笑顔を増やす」ということで『OCFSコンテナハウス』を実施しています。家庭の中で不必要になった物を収集し、本当に必要としている方々へ届ける取り組みを通じて、お金もなく、子どものために準備ができないと困っている若年のお母さんにベビー用品を提供する事もできました。その他、誰でも気軽に利用できる「児童館」とコラボをし、イベントを運営しながら「物の繋がり」で子ども達や保護者の「笑顔を増やすこと」ができたのではないかと考えています。様々な活動の中で皆さまから頂いた寄付で多くの笑顔を生み出すことができたため、今後も1人でも多くの笑顔の為に活動を続けていきたいと思っています。